

肢体不自由教育部門 小学部 4, 5 学年 音楽 学習指導略案

学習グループ	小 B 4, 5 年	授業者	赤間 早苗
時間	13:15~14:00	場所	小 B2 組教室、2-3 階階段
単元名	詩と音楽の関わりを味おう		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 琴の音に気づく（知識・技能）</li> <li>・ ipad（琴、尺八の音が入っている）を操作し、その音を聴くことができる（表現力）</li> <li>・ 「スキーの歌」の曲に気づいて、すべることを楽しむ（学びに向かう力）</li> </ul>		

本時の展開

時間	学習内容	指導上の留意点および配慮事項	備考
13:15	はじまりのうた・はじめのあいさつ 「こんにちは」 楽器を選んで鳴らす	児童の動きに合わせて楽器を複数提示する 児童の動きに合わせて楽器を提示する位置を工夫する	
13:20	ふれあいあそび 「こすれ こすれ」 「おもちゃ びよーんびよん」	身体部位を意識できるように言葉がけしながら触れる。 タッピングや摩擦などの動きに合わせた言葉がけをする	
13:30	琴にふれる 鳴らす 「春の海」	児童の動きに合わせて鳴らせるように教材を提示する（ipad） 音色が違う教材を提示し、選択する機会をもつ	
13:40	滑り台であそぶ 「スキーの歌」に合わせてすべりだい遊びする	頭部などを打たないように安全に十分配慮する	
14:00	終わりのあいさつ		

使用した教材・教具（小学部 肢体不自由教育部門）

教材	説明
	<p>『春の海』の曲を聴いて、実際に琴に触る。（学校所有の琴）</p>
	<p>本物の琴に触った後、iPadのアプリ『ガレージバンド』の中の琴を提示して自由に鳴らした。 子どもの動きに反応して琴の音が鳴るので、子ども達は積極的に触ったり音を聴いたりしていた。</p>
	<p>5年生の題材の『スキーの歌』の曲を聴きながら、そりすべり（すべりだい）をした。オレンジの物は、避難用のタンカーである。着地面には、クッション性のあるマットを敷いた。 大きな段ボール板3枚とトランポリンと併用して使う滑り台を組み合わせて滑り台にした。</p>
	<p>子どもの後ろから身体を支えて、教員と一緒に滑った。 着地面付近に教員が待機し、足が床にぶつからないよう受け止めるのと足を浮かすようにした。</p>